

完璧主義と現実主義の世界観がK-POPの視聴行動に与える影響

小澤主理^a 勝木耀^b 無着陽菜^c

2023年9月22日

要約

本研究では、K-POPの消費行動に着目し、「自己志向型完璧主義の傾向が強い人ほど、K-POPの視聴行動を積極的に行う」、「他者志向型完璧主義の傾向が強い人ほど、K-POPの視聴行動を積極的に行う」、「現実主義の傾向が強い人ほど、K-POPの視聴行動を積極的に行わない」という3つの研究仮説を立てた。学生を対象としてGoogle Formを用いて行ったアンケート調査では125件、社会人を対象としたCrowd Worksを用いた調査では115件の有効回答を得た。この全体のデータについて単回帰分析を行った結果、自己志向型完璧主義の総合的指標で6本中2本、他者志向完璧主義は0本、現実主義で3本の仮説と整合的で両側検定10%の有意な結果を得ることができた。よって自己志向型完璧主義と現実主義に関しては仮説を支持する結果が得られたといえるだろう。一方他者志向型に関しては仮説を支持する結果は得られなかった。

JEL分類番号： D9

キーワード： 世界観， 完璧主義， 現実主義， K-POP

^a 小澤主理 慶應義塾大学経済学部 shuri510s@keio.jp

^b 勝木耀 慶應義塾大学経済学部 katsu-hikaru0705@keio.jp

^c 無着陽菜 慶應義塾大学経済学部 harunamuchaku@keio.jp

1. イントロダクション

音楽は長年世界中の人々に親しまれてきた。中でも近年は韓国のポピュラー音楽であるK-POPが世界を席卷している。K-POPブームは1990年代に始まり、日本でも2000年代以降韓国ドラマをきっかけに起こった韓流ブームからK-POPも急速に広まり、現在は日本でも世界でもトップクラスの人気を誇っている。ではなぜ人々はこんなにも積極的にK-POPを視聴するのだろうか。本稿ではこれを「完璧主義」と「現実主義」の2つの“世界観”という視点から分析した。

ここで世界観とは「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている、現実の性質に関する認識、感情、判断に関する、基礎的な仮定と枠組み」(Hiebert, 2008訳語は大垣・田中, 2022, p. 210)と定義する。完璧主義は「万全な状態への努力を欠かさず、過度に高い目標・理想を設定する」(並木・野本・湯沢, 2019)世界観とし、その中でも、完璧主義の基準を①「自己に求める」自己志向型、②「他者に求める」他者志向型、③「他者から求められていると感じる」社会規定型の3つに分類する。(いずれも大谷・桜井(1995)を引用)このうち本稿では①自己志向型完璧主義と②他者志向型主義に着目する。

また、2つ目の世界観である現実主義は国語辞典を参考に『現実をありのままに肯定し、物事を現実的な立場で判断したり実行したりする世界観』と定義した。

これらを踏まえて、以下の3つの研究仮説を立てた。

研究仮説①	自己志向型完璧主義の傾向が強い人ほど、K-POPの視聴行動を積極的に行う
研究仮説②	他者志向型完璧主義の傾向が強い人ほど、K-POPの視聴行動を積極的に行う
研究仮説③	現実主義の傾向が強い人ほど、K-POPの視聴行動を積極的に行わない

仮説①は自己志向型完璧主義の傾向が強い人ほど、K-POPを完璧で憧れの対象と捉え、そこに近づくためにK-POPを視聴するだろうと考えた。仮説②は他者に完璧を求める傾向が強い人ほど、視聴する対象にも完璧を求め、ハイクオリティなMV、ダンス、容姿、歌を備えたK-POPを視聴するだろうと考えた。仮説③は現実主義では逆にK-POPのハイクオリティさが浮世離れたものだと捉えられ、K-POPの視聴行動に対して負の相関関係が見られるだろうと考えた。

本研究の意義は、今日世界中で注目されている「K-POP」という音楽文化を好む人の世界観を分析することで、日本の更なる音楽文化の発展に寄与できることである。

2. 研究方法

Google Formを利用してアンケートを作成し、世界観の度合いを測る質問10問(自己志向型3問, 他者志向型3問, 現実主義4問)と、経済行動(K-POPの視聴行動)を問う質問6問の計16問を設け、LINE, Instagramを用いて拡散し、125件の有効回答を得た。さらにより幅広い年齢層の結果を集めるためCrowd Worksでも同アンケートを拡散し、追加で115件の有効回答を

得た。計240件のデータについて世界観を説明変数、経済行動を被説明変数として単回帰分析を行った。なお係数は、仮説と整合的であるとき、自己志向型と他者志向型では正の値が、現実主義では負の値が算出される仕組みとした。

3. 研究結果

基本統計量と有意な単回帰分析結果（全体、学生、社会人に分類）を以下の表にまとめた。

表1 記述統計量

質問内容	平均	標準偏差	最大	最小
自己志向型①自分はある程度完璧であるべきだと思う	2.942	1.318	6	1
自己志向型②何でも完璧にやり遂げることが私のモットーである	3.158	1.220	6	1
自己志向型③何事も細かいいところまで全て入念にチェックして万全の状態にするべきだ	4.113	1.067	6	1
自己志向型合計	10.213	2.629	17	4
他者志向型①他者もある程度完璧であるべきだと思う	2.742	1.338	6	1
他者志向型②間違っただ日本語を使っている人がいたら、気になりますか？ ex)頭痛が痛い	3.908	1.329	6	1
他者志向型③髪などの身だしなみが整っていない人を見ると気になりますか？	3.992	1.322	6	1
他者志向型合計	10.642	2.959	18	3
現実主義①物事を判断するとき、したいこととできること、どちらを重視すべきだと思いますか？	3.213	1.150	6	1
現実主義②物事を判断するとき、感情と理論や事実、のどちらを重視すべきだと思いますか？	3.792	1.093	6	1
現実主義③大切な決め事をするとき、理想と現実のどちらを重視すべきだと思いますか？	4.083	1.071	6	1
現実主義④あなたは高校サッカー部の部員です。今年度は県大会でベスト8の成績でした。来年度の目標を立てるとき、目標をどこに設定すべきだと思いますか？	3.754	1.367	6	1
現実主義合計	14.842	2.917	22	5
経済行動① 聴く曲のうち、K-POPは何%くらいの割合を占めていると思いますか？	14.588	23.873	100	0
経済行動②以下のグループが新曲を出したとして、軽い気持ちでもMVを見ようと思うのは何グループありますか？【BLACK PINK, TWICE, BTS, SEVENTEEN】	1.133	1.199	4	0
経済行動③以下のグループでは、軽い気持ちでもMVを見ようと思うのは何グループありますか？【ENPHYPEN, ASTRO, IVE, ITZY】	0.738	1.040	4	0
経済行動④K-POPアイドルを見て憧れ、その人たちに少しでも近づけるように努力しますか？	2.454	1.399	6	1
経済行動⑤K-POPアイドルがアンバサダーをしているブランドや化粧品の広告に惹かれて、その商品を実際に購入することがありますか？	2.192	1.359	6	1
経済行動⑥自分が関心のあるK-POPアイドルが、日本に来てライブを行うとします。席の位置は購入するまでわからないとして、公式のチケットの値段がいくらまでなら購入しますか？ *今回、自分が趣味に使えるお金は最大30000円、K-POPのチケット代の相場は15000円とします。	12071.479	6860.643	30000	0

表2 単回帰分析結果

全体（学生+社会人）

被説明変数	説明変数	係数	P値	
経済行動①	自己志向型①	2.440	0.037	**
	他者志向型③	0.092	0.092	*
経済行動②	自己志向型①	0.139	0.018	**
	他者志向型③	0.263	0.000	***
	現実主義②	-0.201	0.004	***
	現実主義③	-0.126	0.081	*
経済行動③	自己志向型①	0.102	0.046	**
	他者志向型③	0.087	0.086	*
経済行動④	自己志向型①	0.210	0.002	***
	他者志向型③	0.263	0.000	***
	現実主義①	-0.159	0.043	**
	現実主義②	-0.232	0.005	***
経済行動⑤	自己志向型①	0.127	0.057	*
	他者志向型③	0.159	0.017	**
	現実主義②	-0.222	0.006	***
	現実主義③	-0.156	0.057	*

全体 非整合的で有意

経済行動③	他者志向型②	-0.092	0.069	*
-------	--------	--------	-------	---

社会人 非整合的で有意

経済行動⑥	自己志向型③	-1160.650	0.083	*
-------	--------	-----------	-------	---

学生 非整合的で有意

経済行動③	他者志向型②	-0.144	0.034	**
-------	--------	--------	-------	----

全体 合計

経済行動②	自己志向型合計	0.049	0.096	*
	現実主義合計	-0.057	0.032	**
経済行動④	自己志向型合計	0.087	0.011	**
	現実主義合計	-0.086	0.005	***
経済行動⑤	現実主義合計	-0.074	0.014	**

社会人

経済行動①	自己志向型②	2.504	0.074	*
経済行動②	自己志向型①	0.174	0.036	**
経済行動③	自己志向型①	0.145	0.043	**
経済行動⑤	他者志向型③	0.168	0.058	*

学生

経済行動②	他者志向型③	0.138	0.080	*
	現実主義②	-0.176	0.077	*
経済行動④	自己志向型①	0.189	0.038	**
	他者志向型③	0.382	0.000	***
経済行動⑤	他者志向型①	0.008	0.089	*
	他者志向型③	0.158	0.090	*
	現実主義②	-0.241	0.041	**
経済行動⑥	自己志向型③	1053.991	0.043	**

注) 両側検定で***有意水準1%, **有意水準5%, *有意水準10%で有意であることを示す。

数値は小数第4位を四捨五入した。

自己志向型合計, 他者志向型合計, 現実主義合計はそれぞれの世界観の総合指標である。

4. 考察

自己志向型合計を説明関数として単回帰分析を行った結果について、経済行動④が両側検定5%で整合的で有意な結果が得られた。この結果から、自己志向型完璧主義とK-POPの間にはある程度相関関係があるのではないかと考察した。また自己志向型のそれぞれの質問を見ていくと、自己志向型①では経済行動①、⑤にも整合的で有意な結果が見られた。このことから、自己志向型が目指す対象となっているK-POPに関して、特にK-POPアイドルの優れた容姿という特性が憧れの大きな割合を占めているのではないかと考えた。

一方で、社会人セグメントにおける自己志向型③と経済行動⑥については有意水準10%で仮説と非整合的で有意な結果が得られた。これに関しては、社会人は家事・育児・仕事で忙しく、ライブという時間と労力を大きく使う経済行動をあまり積極的に行うことができないというような要因が強く働いたのではないかと考えた。

他者志向型合計では、経済行動から有意な結果は出なかった。有意な結果が出なかった原因として、世界観を問う質問の内容の齟齬があったからではないかと考えた。まず他者志向型①の質問は概念を問う質問であり、様々な他者志向の考え方が当てはまる。次に他者志向型②の質問は言語に対する違和感を問う質問であって人の言動に完璧を求める内容である。最後に他者志向型③は外見的要素に対する違和感を問う質問であり、人の見た目完璧を求める内容である。このように何に完璧を求めるかの対象が様々であったため有意な結果が出なかったのではないかと考えられる。

現実主義合計では、経済行動②④⑤で有意な結果が得られた。ここについて現実主義に関する4つの質問ごとに細分化し、考察する。

現実主義①、②では有意水準5%以下の有意な結果が得られたものの③、④では得られなかった。これについては現実主義③、④の質問内容の設定に問題があったと考える。

現実主義③は「大切な決め事をするとき、理想と現実のどちらを重視すべきだと思いますか」という設問だが、この「大切な決め事」というシチュエーションがK-POPを視聴するかどうかという行動とマッチしていないことで有意な結果が得られなかったのではないかと考える。

現実主義④はサッカー部員だとして、来年度の目標をどこに設定するかという設問だが、これは「自分の目標」ではなく「チームの目標」をどこに設定するかを問う質問であった。そのため「自分が」K-POPを視聴するかどうかとはあまり関係がなくなってしまい、有意な結果が得られなかったのではないかと考える。

反対に現実主義②では経済行動②を含め最も多くの経済行動の項目で有意な結果がみられた。現実主義③④は上で述べたような理由で有意な結果が見られなかったと考えられるが、現実主義①についても改善の余地があるだろう。現実主義①世界観の本質を聞くことはできているものの「したいこととできること」が一致してしまうケースがあるなど、現実主義②に比べて曖昧であったため、有意な結果は出ているが、②ほど多くは出なかったのではないかと考える。

次に有意な結果が得られた現実主義①②の内、特に強い相関がみられたものについて考察する。現実主義①②どちらでも経済行動④で有意な結果が得られた。これについては、現実的に考えればK-POPアイドルというのは自分からは“遠い存在”なはずである。しかし「K-POPアイドルになりたい」という願望や感情を優先するような理想主義的な考え方をする傾向がある人ほど、憧れのK-POPアイドルに自分も近づきたいと考え、その努力をする。反対に現実主義であるほど、K-POPアイドルは遠い存在として、自分とは切り離して考えるため、必然的にそのための努力もしないのではないか。

次に現実主義②では経済行動⑤で有意な結果が得られた。これは、理論上K-POPアイドルがアンバサダーをしてもその物自体の価値は変わることはない。そのことに関して現実的に認識している現実主義者であるほど、K-POPアイドルがアンバサダーを務めることでの購買促進の程度は低いのではないか。

5. おわりに

今回の研究では自己志向型完璧主義の総合指標で6本中2本、他者志向型完璧主義の合計で0本、現実主義の合計で3本の仮説と整合的で有意な結果得ることができた。よって自己志向型完璧主義と現実主義に関しては仮説を支持する結果が得られたといえるだろう。一方他者志向型に関しては仮説を支持する結果は得られなかった。

また流行への敏感さや友人からの誘いに同調する世界観等がK-POPの視聴行動に影響を与える可能性を考えることや、日本人以外の世界の人々のK-POPの視聴行動が何に影響されているかを調べていくことで今後さらに研究を深めることができるだろう。

6. 引用文献

大垣昌夫・田中沙織, 2022, 行動経済学新版, 有斐閣, 東京

並木大晟, 野本由麻, 湯沢恭子, 2019, 完璧主義がフリマアプリの活用に与える影響, 慶應義塾大学経済学部大垣昌夫研究会 2019 年度研究グループ論文

大谷佳子・桜井茂男, 1995, 大学生における完全主義と抑うつ傾向および絶望感との関係, 心理学研究第66巻第1号

大谷佳子・桜井茂男, 1997, “自己に求める完全主義”と抑うつ傾向および絶望感との関係, 心理学研究第68巻第3号